◆職場紹介◆

新規事業創出を加速させる「イノベーションラボ」設立!



新たな中期経営計画の実現に向け、各部門・グループ各社の新規事業創出を加速させるべく、2019年7月1日付で経営企画室に新設した「イノベーションラボ」について、一問一答形式でご紹介いたします!

新組織「イノベーションラボ」 ~ 一問一答 ~

イノベーションラボって何?

スピーディかつ自律的・継続的に**ニーズ・シーズ(※1)の発掘と多産化を強化**し、 新サービスの事業化をめざす組織です。

イノベーションラボでは、**4つの価値観(※2)を共有**し、**新事業・新サービスの創** 出と既存事業の変革に挑みます!

つまり、社内外の技術や資産等を活用し、枠にとらわれない多くのアイデアを考え、事業・市場の創出を目指すってこと?

そうです! 当社グループのイノベーション推進を支援する機能もあり、 社内ベンチャー制度やアイデア創出チャレンジ等の企画・運営もしていきます。

イノベーションラボ設立にあたっては、デザインを得意とする社員と英語に精通した社員のコラボによって、当社のイノベーションへの思いを込めたロゴも作ったんですよ。

*こ*れです!⇒

Inno%tion Lab.

「**V**」と「**A**」が特徴的だね。 このロゴにはどのような思いが込められているの?

> 強調している「V」と「A」は当社ロゴのボルトとアンペアを踏襲するとともに、 二重線によりそれぞれ二つの意味を持たせています。

「V(ボルト)」と「A(アンペア)」の掛け算で電力を生むように、
「Varied Values = 多様な価値」と「Agile Actions = 素早い行動」の
掛け算によりイノベーションを巻き起こしていくぞ!っという思いです。

なるほど!

「V」と「A」の飛び出して広がっていく感じが、イメージともぴったり!

他の部署の組織とは何か違いがあるの?

新規事業にかかる全社の舵取りや、開発支援(ベンチャー投資・協業、社内起業家育成支援等)を行う従来のグループに加え、新たに新事業・新サービスの創出を加速させる事業開発機能をもつ「ユニット」を設置。約40名の体制で活動を開始します。

「ユニット」 とは?

体制や階層にとらわれず、事業化検討を行うチームです。

エネルギー分野だけでなく、非エネルギー分野の領域含む7つのユニットでスタートします。

- ① エネルギー ② 社会インフラ ③ 文化・エンタメ ④ 農業・食料 ⑤ ライフデザイン
- ⑥ グループ事業 ⑦ **iino**(※ 3)

関西電力はエネルギー事業にとどまらず、積極的にイノベーションに取組んでいくということですね!

そのとおり! 直近では、経済産業省とイノベーションリーダーズサミット実行委員会が 共同で実施する、オープンイノベーションに積極的な大企業のランキング調査 「イノベーティブ大企業ランキング」において、多くの大企業が名を連ねる中、 2019年度 エネルギー・電池部門で1位に選ばれました。(※4)

今後も新たな体制で更に、積極的な活動を展開していきます!!

- ※1:企業が有する事業化、製品化の可能性がある技術やノウハウなどを指す
- ※2:① 社会にとっての価値へのこだわり ② オープンイノベーション ③ リーンスタートアップ ④ ジレンマ領域への挑戦の 4 つの価値観を指す
 - ① 社会にとっての価値へのこだわり

お客さまや社会の課題解決に貢献できるモノ・コトの提供に徹底的にこだわること

② **オープンイノベーション**

外部のアイデアや技術を積極的に取り込み、革新的な価値を創造すること

③ リーンスタートアップ

最低限のコストと短いサイクルで仮説の構築と検証を繰り返しながら、市場やユーザーのニーズを探り当て ていく事業化手法

④ ジレンマ領域への挑戦

これまでの事業には不利益となるような新事業領域へ挑戦すること

※3:時速3~5キロで走行する自動運転車両。【詳細はユチラ】

※4:「イノベーティブ大企業ランキング」詳細は<u>コチラ</u>。